

# 日本人の忘れもの 知恵会議

未来を拓く京都の集い 日本人の忘れもの 知恵会議

主催=京都新聞 企画協力=株式会社 日商社 「忘」=筆 森清範 清水寺貫主



日本人の忘れもの 知恵会議

## 提言◎

# 暮らしに息づく 生活文化の再興と実践へ

## 日本人の精神性が宿る街・京都

明治維新後、日本は欧米など西洋文化を追い求め、近代化への道を歩きました。結果、単なる模倣ではない自国文化として昇華させ、経済大国といわれるまでに至りました。一方で、経済・文化などのグローバル化がますます進む世界で、昨今の日本社会の世相を顧みると、日本人がかつて培ってきた心。までもが希薄となり、進むべき方向性を見いだせていないように思われます。

「日本人の忘れもの知恵会議」未来を拓く京都の集い」では、そのヒントは日々暮らしている街です。古来、日本人は「絆供養」(誓供養)にみられるように、物質に対して機能性を越えた思い入れを持ち、精神を充実させていく伝統を持っています。また、鋭い感性と深い情緒が、日本の独自性でもありました。海外の文物に対する関心も、中小企業群が持つ細やかな細いクオリティの高さも際立っています。

美しく価値ある暮らしの実現のために 現在、工芸や美術など京都のものづくりの世界は、新たな世代が個別の枠を超え、コラボレーションして未来を築き始めています。互いの強みを生かし、古いものを単によみがえらせるのではなく、新しいライフスタイルの中に取り入れ、生活の質の高さを図る。その際、部分より全体としてのあり方を重んじる、「型」「道」といった日本固有の精神的価値を再認識するのです。

このように、伝統工芸、伝統美術に代表される日本の文化は、それを支える地域と人を含めた総合的な価値として、日常生活の中に生かし、広く展開していくことが必要です。それには、一人一人の生活者が多くの選択の機会を生かし、美しく価値ある暮らしの実現のために、「生きがい」を発見しなければなりません。そして、その広がりを生み出すためには、伝統産業界をはじめとして、各業界が現代都市環境下での生活提案・文化の生かし方を自ら訴求し実践していく必要があると考えます。

文化の活用を 日常生活の中で文化の活用は、次世代への教育にも、現代の健康な生活にもつながります。坪庭や格子戸、また、床の間や仏壇、畳など。街を歩けば、石畳、瓦屋根が見られ、「門番」などの風習や、「地藏盆」「三参り」など、四季の移ろいや節目を表す祭礼などがあります。何気ない日常の暮らしの中には多くの文化的な要素が存在しています。

東日本大震災が発生した2011年にスタートしてから7年。「日本人の忘れもの」は、1200余年の歴史に裏打ちされた生活の知恵を昇華させ、文化を創造してきた街・京都で、「文化・芸術」「教育」「宗教・精神」など、さまざまな側面から

## 「生活文化ルネサンス」



大政奉還から150年。二条城や伏見をはじめ、龍馬や維新の志士が活躍した舞台となったあちこちでさまざまな催しが目立つようになってきた。王城の地として、1200年以上もの歴史を刻んできた京都。山紫水明、周囲を取り巻く山々と豊かな水に象徴される環境は長年、都へのあこがれをかき立ててきた。その半面、京都は繰り返し災害に見舞われてきた。鴨川に代表される河川の氾濫、公家らの日記に記された大震災、御所を含む中心部を焼き尽くした戦乱、衛生環境の悪化に伴う感染症流行など。夏は暑く、冬の底冷え。決して住みやすい場所ではなかったはずだ。しかし、京都が京都となったことはなかった。為政者による人々への支援があったからだろうか。

人の思い、記憶、物語に着目。未来に伝え、新しい暮らしのあり方のヒントとなる京都を探して議論を重ねてきた。登壇者は宗教、学術、芸術など各界、企業人に加えて代々、京の日常生活を实践してきた家の人々だ。 「まさに歴史が生きている」「子どものころから芸術に触れ、文化の記憶を持ち続けてほしい」「自然と対話する心を失ってはいけない」「源氏物語」に匹敵する物語を、まのうちに作ってほしい」「常に立ち返る」ことができない理念を持ちたい」「流行を離れ、一人ひとりが独自の豊かさを考えていく……」。議論の記録からは、幅広い提言が読み取れる。官から民へ。少子高齢化や頻発する災害復興など、行政だけでは解決が困難な課題が山積する現代社会において「日本人の忘れもの知恵会議」は、豊かな未来の実現を入手するヒントを探していきたい。1200年間に蓄積された知恵の宝の山から、だ。

いつの時代にも念頭に置きたい発言の一方、時事的な話題に則した提案もあった。 「過去の遺産に頼るあまり、まち全体が凍結した美術館のようになつてはいけない」。昨今の過剰ともいえる京都観光ブームを再考するとともに、2019年に世界中の専門家から京都で博物館のあり方を考えるIOM(国際博物館会議)にも関わっていきたくてマタだ。文化庁の京都への全面的な移転に伴う提言も複数あった。 私たち「日本人の忘れもの知恵会議」は、今後このような活動を構想し実施できるのか。広く意見、事業計画案を募っていく。(京都新聞総合研究所長 内田孝)



「衣食・住」があった。だから都であり続けたに違いない。こゝそ、京都は今日に至るまで京都であり続けたに違いない。有名な社仏閣、華やかな花街、味覚に加えて、器や盛りつけもひとと違う料理……。世界中からの観光客がSNSで発信したくなる観光の要素は、目を凝らさなくとも向こうから飛び込んでくる世界だ。

これに対し、「日本人の忘れもの知恵会議」は、京都のく日常の暮らしに見え隠れする先

## 「暮らしに息づく生活文化の再興と実践」に向けた「体験型事業」募集のお知らせ

テーマ=「和の心」～あなたの身近に隠れているモノ・コトの再利用～ 京都の伝統的な生活文化を体験する機会と場の創出をはかるため、皆さまからの体験型事業、啓発活動を募集しています。忘れられつつある地域文化をいかに現代社会の日常生活に取り入れることができるか。未来に残していくための実践されている地域活動について、京都新聞の紙面や特設サイトなどで広く周知するとともに、当会議との連携で新たな地域事業の創出を目指したいと思ます。

「日本人の忘れもの」 この美しい国で育まれた宝ものがあります。遠い祖先が積みあげてきた技。磨きかけた暮らしの知恵と作法。花と語り、鳥と遊び、風をたのしみ、月と戯れ、その花鳥風月に命を見つけ、神が宿ると信じて。山川草木悉皆成仏のところで、畏怖と親しみを自然に抱いた日本人。自然をともに感じ合ったための、もてなしや遊び心など 豊かな文化を創造してきた、京都から、「こころ、ここに」 日本に伝えたいことがあります。

アサヒビール株式会社 京滋統括支社  
石清水八幡宮  
裏千家 今日庵  
N T T西日本 京都支店  
大阪ガス株式会社  
オムロン株式会社  
株式会社 オンリー  
株式会社 京都銀行  
株式会社 京都中央信用金庫  
株式会社 京都東急ホテル  
株式会社 京都西川  
株式会社 京都ホテル  
清水寺  
キリンビール株式会社 京滋支社  
株式会社 きんてん 京都支店  
月桂冠株式会社  
サントリー酒類株式会社 京都支店  
株式会社 GSユアサ  
ジーク株式会社  
株式会社 ジエイアル西日本伊勢丹  
株式会社 進々堂  
成基コミュニケーショングループ  
綾本山 醍醐寺  
株式会社 大丸松坂屋百貨店  
株式会社 高島屋京都店  
タキイ種苗株式会社  
武田病院グループ  
東京海上日動火災保険株式会社  
株式会社 トーセ  
TOWA株式会社  
西日本旅客鉄道株式会社  
ニチコン株式会社  
NISSHA株式会社  
日本たばこ産業株式会社  
東山浄苑 東本願寺  
株式会社 日立製作所 京都支店  
株式会社 福寿園  
株式会社 フクナガ  
富士ゼロックス京都株式会社  
佛教大学  
京懐石 美濃寺  
彌榮自動車株式会社  
学校法人 立命館  
ローム株式会社  
株式会社 ワコールホールディングス